

スマイル タウン

人が好き 笑顔 がステキな街が好き

2021
5・6
月

第313号

ひの社会教育センターは、市民のみなさまの
“やりたい”を実現し、「豊かなくらし」を応援する
施設として、1969年に日野市と勤社会教育協会が
協定書に基づいて設立しました。
今月もセンターで生きがいを創る沢山の
市民の方々の活動をお伝えします。

おとな講座

ウクレレ



「手軽な楽器ウクレレ

楽器初心者におすすめ」

- シリーズ 「SDGsを自分ゴトにしてみた！」①
- 表紙の講師は…「ウクレレ」講師・原田 紳 先生
- 2021年度 3つの“まなび”
- センターからのご案内 賛助会・寄付お礼

SDG s を自分ゴトにしてみた！

2030 年に向けた国際コンセンサス「SDGs」。センターのある日野市も SDGs 未来都市に指定され、様々な所で 17 個の目標ロゴマークを目にするようになってきました。SDGs の目標はどれもシンプルでとても大切そう。しかし、この目標を達成するには自分たちに何ができるのでしょうか。

今年度はひの社会教育センターの職員がそれぞれ関心のあるテーマを取り上げ、「自分ゴト」としてとらえ、その分野の実践家や専門家と対談しながら SDGs の取り扱い方について考えていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



シリーズ

「SDGs を自分ゴトにしてみた！」①



13 気候変動に具体的な政策を

センターに新しいマシンがやってきました。一見するとスツーカー。しかしスイッチを入れると「ブイーン」という音と共になんと空気中の二酸化炭素を回収します。おまけにモニターには AI が搭載されていておしゃべりも楽しめる。CO₂ を吸収し、地球温暖化へ立ち向かうその名も「ひやつしー」です。

SDGs を自分ゴトにしてみたシリーズ、第 1 回目は気候変動アクションに挑む「ひやつしー」の生みの親、一般社団法人炭素回収技術開発機構の**村木風海**さんにお話を伺いました。

寺田…ついに来ましたね「ひやつしー」、待っていました！しかし、この機械が CO₂ を回収できるというのはにわかには信じがたいですが。

村木…「ひやつしー」は CO₂ を回収できる世界最小のデバイスです。

だいたいお部屋いっぱい森林や草原を植えたとなると、同じくらい CO₂ 吸収ができます。スイッチ一つ入れるだけで温暖化の素でもある CO₂ 削減に取り組めるわけです。



「ひやつしー」と村木さん

寺田…これは面白いですね。すると、機械だから昼も夜も関係なく…？

村木…その通り！木は夜になると日が沈んで CO₂ 吸収量が落ちますし、老木になっても落ちてしまします。その点「ひやつしー」は同じパフォーマンスをずっと持続できるのも特徴です。

寺田…いや、これはすごい発明ですね。おまけにこの喋るモニターもカワイイ。ところで、「ひやつしー」はどのようにして生まれたのでしょうか。

村木…「ひやつしー」は僕が高校生の時に独学で作った発明です。小学生のころ、読んだ本から宇宙や、特に火星に興味をもちました。火星に行ってみたく。しかし、調べてみると火星は 95% が CO₂ で満たされている星です。これを解決しない限り人類は火星では住めない。こんな視点から CO₂ に関心をよせ、研究を始めました。その後、地球温暖化の論点も CO₂ であることに

触れ、両者に共通する課題解決を本格的に研究するようになり、その成果物として「ひやつしー」が生まれました。モニターや AI は、できるだけ「ひやつしー」を身近な存在として感じてもらえるようにした工夫です。

環境問題は一人ひとりの意識次第

寺田…名前といい、工夫といい、細かいところまで優しいですね(笑) にか意図してこの柔らかさを出しているのでしょうか。

村木…いくつか大切にしていることがあります。その一つはできるだけみなさんに馴染みやすいように分かりやすく伝えることです。難しい科学技術はいくらでも難しく伝えることができます。しかしそれでは多くの人の理解は得られない。子どもでも分かるくらい簡単にすることの方がむしろ難しいですが、たくさんの方に知ってもらえることにも繋がります。

寺田…なるほど。「ひやつしー」は、CO₂ を回収する優秀な装置ですが、地球は残り 9 年で 50% の CO₂ を回収しなければいけないと言われています。さすがに「ひやつしー」だけでは回収量が足りないとの指摘もあるようですが、その辺りはどうですか？



村木…全然足りないです。(笑)

実は世界には、もつと大型のCO₂回収装置が既に開発されていて「ひやつしー」のおぼけのような大きなものの、一部で運用が始まっています。

日本でもこの装置を、例えるなら山梨県ほどの面積に設置して稼働させれば必要なCO₂が全て回収できる、とも言われていますが、実現させるには大きな予算と政治の力が必要なため、今すぐにはできないかもしれません。

寺田…環境問題をどうにかしないといけないということは長く論じられていますが、地球規模の話となると、自分ゴトにしづらいという面もあると聞いています。

村木…しかし、例えば国民のみんなが「ひやつしー」を家庭に持っている、日々CO₂回収に取り組んでいたらきつとこの課題への関心はもつと高まることでしょう。それでも回収量は必要量には足りませんが、ここで大きなアクションを起こさないと、その時は大きなうねりを起こす可能性もあると思っています。なので「ひやつしー」自体は個人向けの機器にこだわっているのと、「親しみやすさ」の工夫を凝らしています。

寺田…いや、そこまで考えられているとは…。私たちも「ひやつしー」を導入して良かった！とホクホクしています。今後、日野市内で「ひやつしー」を巡業させる案も出ており、市内でも広がりを見せそうです。

村木さんは11月の【未来へのバトンサミット】(詳細P4)にもご登壇いただくことになっています。そこではさらに詳しく、そして未来が明るくなるような話を聞けそうですね。まだまだ書ききれないたくさん

の野望をお持ちのようで…笑
今回は気候変動やCO₂に、より興味を持ったインタビューでした。ありがとうございます、また11月もよろしくお願いします！

村木風海氏 プロフィール

- ・化学者兼発明家
- ・一般社団法人炭素回収技術研究機構(CRA) 代表理事・機構長
- ・ポーラ化成工業株式会社 特別研究員 ほか



表紙の講師は…

ウクレレ講座

火曜日(月2回) 10時〜11時半

講師 原田 紳 先生

プロフィール

センターでの講師歴は、約5年。都内、他の場所でもたくさん生徒さんにウクレレを教えています。

この春から、センターで新たに「アコースティックギター」講座も開講予定。こちらも興味のある方は、ぜひのぞいてみてください。

「はじめてのアコースティックギター」
金曜日 19:00〜20:30
問い合わせ受付中!



教室の様子

音の出し方や、指の動かし方を細かく、ご指導される原田先生。会員さんは、集中して手元と楽譜を見つめ、先生は終始、穏やかな口調で、講座の時間は、ゆるゆると過ぎていきます。

会員さんの様子を見ながら、聞きながら、「この小節まで弾いてみましょう。でも気分がよければ、そのまま弾いて、どうぞ。」とお声かけ。肩ひじ張らずに、ゆったりと取り組める雰囲気です。

先生に聞きました!



↑ウクレレの優しい音色が響きます。

第一声は「種類は問いません。どんな楽器も、習っていて『楽しい』と思える場所をさがすことが第一条件だと思いますよ。」と、話してくださいました。

ウクレレ教室では、「ソロ弾き」「コード弾き」「メロディーのせて弾く」といった、多様な楽しみ方を、みなさんのリクエストを聞きながら、いろいろなスタイルに対応しています。そして曲もオールジャンルOK。

「ギターは弦が6本でウクレレは4本です。手の指が5本ですから、指の方に1本余裕がありますよね。楽器の入り口として、とても簡単で手軽なので、早い人は30分で音が出せるようになります。私は出し惜しみしないので、皆さん、すぐ上達しますよ。(笑)だまされたいと思って始めてみてはいかがでしょうか。」

世界一しあわせな国のおはなし お話し会

オンライン講座



講師：ピーダーセン海老原さやか（デンマーク在住・公立特別支援学校勤務）

日々の生活、仕事、社会 etc...について生の声をデンマークからお届けします。

暮らしや生き方について考えるヒントが見つかるかもしれません。

ワークショップを取り入れ、みんなで学ぶお話し会です。

2回目以降のテーマも一緒に考えましょう。2回目以降はお好きなテーマの回にご参加ください。

日時 5月30日(日)

15:00~16:30 「はじまりの回」

参加費 550円

※初回のみ会場参加も可能です

申し込み受付中!!

今後の講座予定

日時 2回目 8月29日(日)「デンマーク×???」

3回目 11月28日(日)「デンマーク×???」

参加費 各回 2,200円(早割り 1,650円 先着 20名限り、各日1週間前まで)

元センターリーダーのえびちゃん。
2000年に、センターの「高齢者福祉視察の旅」に参加したことがきっかけでデンマークに留学。
その後デンマーク人の夫と結婚し移住。
日本での講演活動などでも活躍中!



子どもたちと未来のために、地球を守る “未来へのバトン”サミット2021



気候変動 # 地球温暖化 # SDGs # 持続可能・維持可能
次世代へのバトン # 子どものためにできること

2021年11月開催の“未来へのバトン”サミットでは
5月末まで協賛・参画団体を募集しています。

- ・協賛金で参画する「協賛 A」
- ・サミットの広報協力で参画する「協賛 B」
- ・関連イベントの実施で参画する「協賛 C」

参加しやすい3つのパターンを用意しました!

詳細は QR ページからご確認ください!

協賛・参画団体詳細→



みんなで考え創る、「未来へのバトン」

主催：(公財) 社会教育協会

後援：環境省・日野市・東京都環境局(申請中)



子どもたちや
孫たちに
渡せる“バトン”は
あるのだろうか!?

講演：11月にオンライン配信予定 シンポジウム：11月27日(土)
会場とオンラインの並行開催で全国から参加可能!

自然保育ゼミナール 開講

私たちは50年前から野外教育を始め、その流れの中で2009年より『森のようちえん』事業をスタートさせました。

このゼミナールにはこれまでの活動の中で見てきた大切なことや、私たちがもっと学びたいこと、学びを深めたいことをギュッと凝縮しました。みなさんもぜひ一緒に学びませんか?

▽こんな方におすすめのゼミナールです▽

- “自然保育”というキーワードが気になった方
- 保育園・幼稚園等、保育の現場で自然の中での活動を取り入れたいと感じている方
- 自分の子どもに自然活動を取り入れたい方
- いろんな人と保育観を深めたい方
- 将来保育士や幼稚園教諭を目指す方

学べるテーマ

- *子どもをみる視点
- *実効性のある事故予防 リスクマネジメント
- *自然保育下での非認知的スキルと運動能力
- *環境を考えた自然保育の取り組み
- *フィールド素材の活かし方

日程

2021年度を通じ、全12回(各月1回ペース)
各テーマに沿った講座を企画しています。

オンライン講座



6/26(土)

「自然の中で得られる子どもたちの非認知的スキル」
講師：山口 美和 氏

12/18(土)

「自然の中で得られる子どもたちの運動能力」
講師：居崎 時江 氏

その他講座の詳細・お申し込みは、ひの社会教育センターHP

または 自然保育ゼミナール で検索を。



コロナ禍の状況下でも「学び」は止めず、今年度の講座チラシを作成しました。
2021年度講座チラシと、センター元館長・中能孝則著の書籍チラシを同封いたしますので、ご覧ください。



賛助会へのご協力 ありがとうございます ★順不同・敬称略

- ①個人会員 1口 1,000円
伊藤昭夫 10口 柿田雅子 120口 齊藤淑人 6口
- ②団体会員 1口 5,000円

スマイルタウン発行：(公財) 社会教育協会ひの社会教育センター 発行責任者：館長 入手喬
〒191-0062 東京都日野市多摩平 3-1-13 電話 042-582-3136 FAX 042-581-0647